



マンスリータイムズ みはま 6月号①

ICEPコンサート…心に響く素敵な時間でした

本校「校長室だより」でも紹介されていますが、6月12日に認定NPO法人ミュージック・シェアリングによる「ICEPコンサート」が開催されました。五嶋みどりさんと3名の演奏家の方が来校し、バイオリン、ビオラ、チェロの素敵な音色を聞かせていただきました。和歌山病院に入院している児童生徒も病室やデイルームで演奏していただき、実際に楽器にふれさせていただく場面もありました。「ほんもの」の迫力が心に響く素敵な時間を過ごすことができました。感想を一部紹介します。



指揮者がいないのに、4人で音を合わせているのは、すごいことだと思いました。生でこんな素晴らしい演奏を聞いたのはとても光栄です。

演奏しながら、感情が表情に表れているようで迫力があつた。演奏がとても上手だった。今までいくつか演奏をきいたことはあるけど一番よかった。ずっと忘れることはないと思います。



バイオリンにふれると、振動を感じたね

名前は知らなくてもどこかできいたことがある曲もあったので楽しくきけました。ふだん、ヴァイオリンとか興味ないのに、つい真剣にみて、首がいたくなるほどきいてしまいました。大人になってきいてみたらまた感じるものがちがうのかなと思いました。そんな機会があればいいなと思います。外はあいにくの雨でしたが、逆にそれがよかったような気がします。ぽつぽつという雨の音にもマッチしてたと思います。気分はすごくハッピーでした。

※当日は報道機関の取材がありました。インタビューされた人もいましたが、自分が感じたことを自分の言葉で話すことができていました。緊張する場面だったと思いますが、堂々とした姿を見せてくれました。

図書室イベント「なぞとき脱出ゲーム」を開催しました

本校の図書室は普段から、たくさんの方が活用しています。

6月の図書室イベントとして、なぞとき脱出ゲームを開催しました。御坊市立図書館にも協力いただき作成したのですが、手がかりのカードを探して、なぞを解き、30分以内に閉じ込められた図書室から脱出するゲームです。2~4人のチームで行います。小学部から高等部まで、さまざまなチームが挑戦してくれました。

今回のゲームは、図鑑の使い方がわかっていないとクリアできません。挑戦してくれた小学部チームは、「ホントは図書の先生が黒幕ちゃうん」など、軽口を言い合っているけど、なぞときの終盤になると、真剣な表情でなぞときをしていたのが印象的でした。



校長先生もチャレンジ中！
最後は3人で力を合わせて大成功！



ラオスコーナーも見てね！

本校で勤務する教員が、現在、青年海外協力隊としてラオスに派遣され活動中です。毎月、ラオスの文化や生活の様子が「ぼーぺんにゃん通信」として届きます。図書室にある「ラオスコーナー」で紹介しています！（「ぼーぺんにゃん」とはラオスの言葉で「どういたしまして」や「問題ないよ」という意味です）